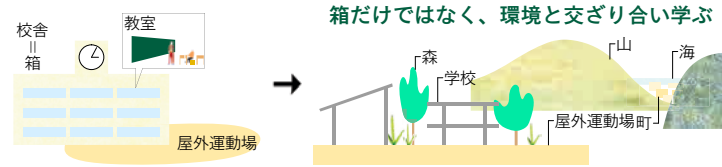


## 新しい時代の学校は、新しい町の拠点となる

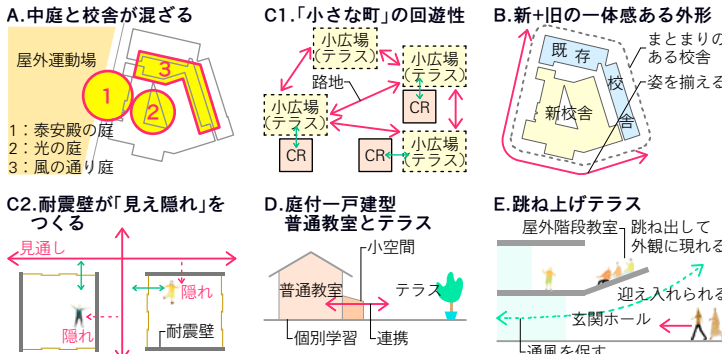
①「新しい時代の学び」を実現するための提案

小学校を建てることは未来の人間のあり方を謳うことです。近代に建てられた校舎は、戦後の気運もあり兵舎や工場の姿にも似ています。同様に現代の価値観を新校舎の設計に映し出すことは「新しい時代の学び」の実現に繋がりますが、本整備ではそれに留まらず、新旧校舎と自然や史跡が共存します。豊かな歴史的蓄積は多様性を帯び、社会へ開かれ多様な価値観を育みます。それは新しい時代の学びの環境と言えます。



## 1.「環境」を形成し、風土・自然・地域から学ぶ

■旧校舎は「校舎という箱、教室という室内空間」が主機能でしたが、新校舎では新しい時代の「開かれた環境としての学校」と定義づけます。前者は時に排他的ですが、後者は融和的/包括的です。町の豊かな歴史的蓄積や風土を尊重し、屋内外/学校内外の「つながり」を育み、町ぐるみで学ぶ地域拠点を目指します。具体的には、5つの原則を提案します。



## 2.解放的で親自然的な新校舎のための5原則

### A.校舎の一体性、歴史の体感

- ・新校舎は2階建(一部3階)とし高さをなるべく抑える。
- ・新校舎と既存校舎が一つの建築物と捉えられる形態の調和
- ・面校舎と既存の自然環境とが一体となり、歴史を体感する
- ・校舎を集約し、密接な人間関係を育めるようにする

### B.複数の中庭と校舎が混ざり合い、光と風に包まれる

- ・建物間の隙間は明るい中庭として計画し光と風を呼び込む
- ・機械設備に頼らず、自然エネルギーから学べる環境づくり

### C.出会いの広場+回遊性=小さな町のシーケンス

- ・端末機器やICT活用の傍らで、お互いが顔を合わせ表情を確認しあう「小さな町」として設計し、色々な場所を設ける
- ・視野の抜けと遮蔽を組み合わせ、見え隠れを意識した壁配置とし、校内を散策する楽しみや、一人のスペースも用意
- ・「小広場」を設け、交流や教員業務の快適化にも役立つ(→E)
- ・廊下は「路地」と読み替え複数の動線を用意し、アルコブやベンチを配しどの場所も滞在空間に変え自由に過ごせる

### D.開放的な「庭付き一戸建」型クラスルーム

- ・各普通教室(=家)の周囲に、専用水回り付きテラス(=庭)と、小空間(=縁側/離れ)を設置し、多様な学習形態に対応できる冗長性の高いスペースとする。グループ学習や相談、多目的室とは異なる小規模な学習やいつもと違う授業形式を手軽に実現し、授業中の発案に応じ領域を自然に拡張できる。教室+テラス+小空間を連携活用できるよう配置し、6教室毎に異なる形状や関係を持たせ、多様な環境を形成
- ・職員室や保健室も同様の形態とし場の冗長性や連携を図る

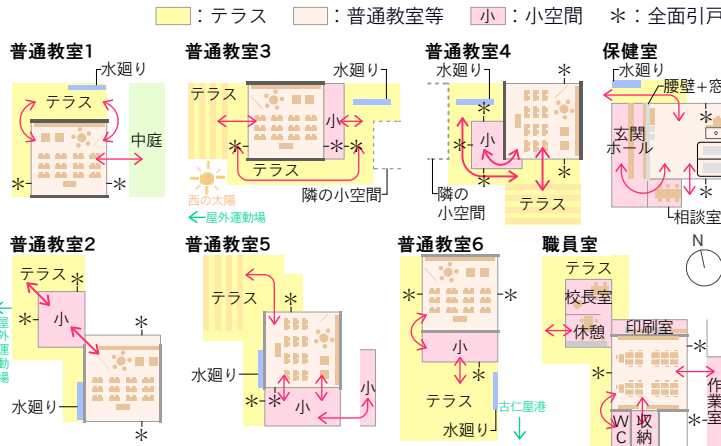
### E.テラスが教室の自由度を高め、学びを活発化

- ・「小広場」にテラスを組み込み、クラスの活動を公開する
- ・互いを訪ね合い、異なる学年が学び合える環境が生まれる
- ・跳上げテラスに階段デッキを備え野外活動が可能。屋根と共に外観を特徴づけ、未来へ跳躍する子供への希望を象徴

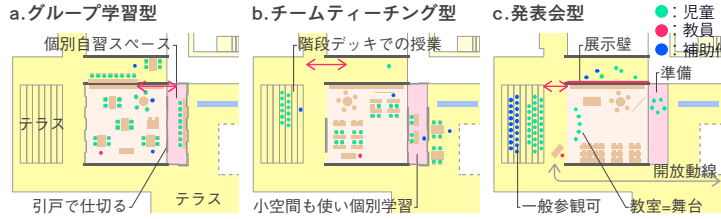
■学校が親自然的・解放的な環境であると、多様性の受け皿になり、支援が必要な児童の問題も緩和できます。設計中は5原則を基軸とし、関係者と議論し計画を柔軟に検討します

## ■「庭付き一戸建」型教室の様々なタイプ

＊小空間/テラス/教室の大きさ・位置関係のバリエーション



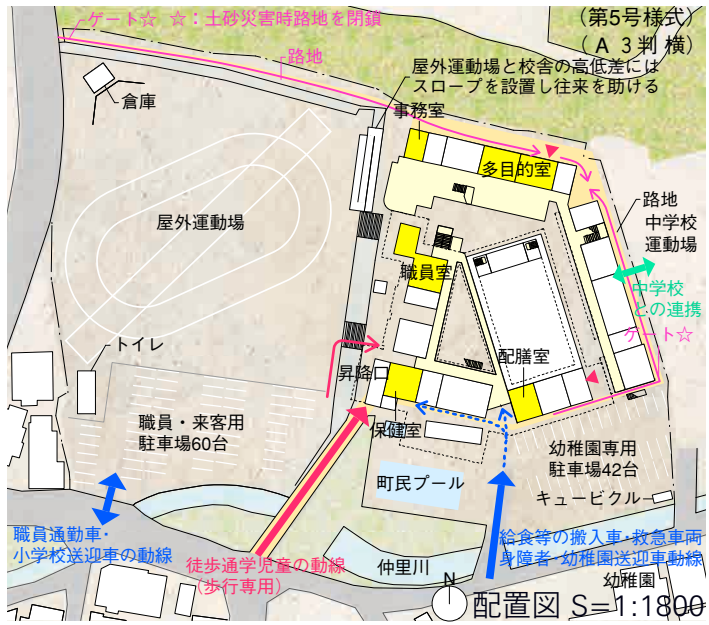
＊1とのタイプでも多様な使い方ができます(普通教室3の例)



②児童の移動円滑化を実現するための提案

## 3.三つの回遊性で、快適性と利便性が結びつく

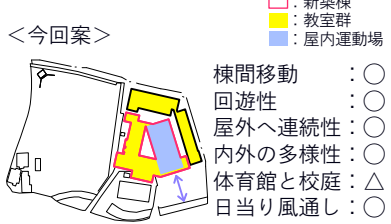
- 三重の回遊動線のほか、諸室間動線を豊富に用意し、校内散策の楽しさや移動円滑性、教職員の業務効率を高めます。
- ・新校舎と屋内運動場を棟にまとめ、既存棟と集約化
- ・三つの回遊性(a=新校舎内運営動線,b=既存/新校舎運営動線,c=地域開放動線)を形成し、安心安全で快適な動線計画
- ・主要動線は屋内化/屋根付き外部とし雨に濡れずに過ごす
- ・配膳用升降機を乗降用EVサイズとし、車いす対応を兼ねる
- ・使いやすく清潔でプライバシーを保てる屋内トイレを充実



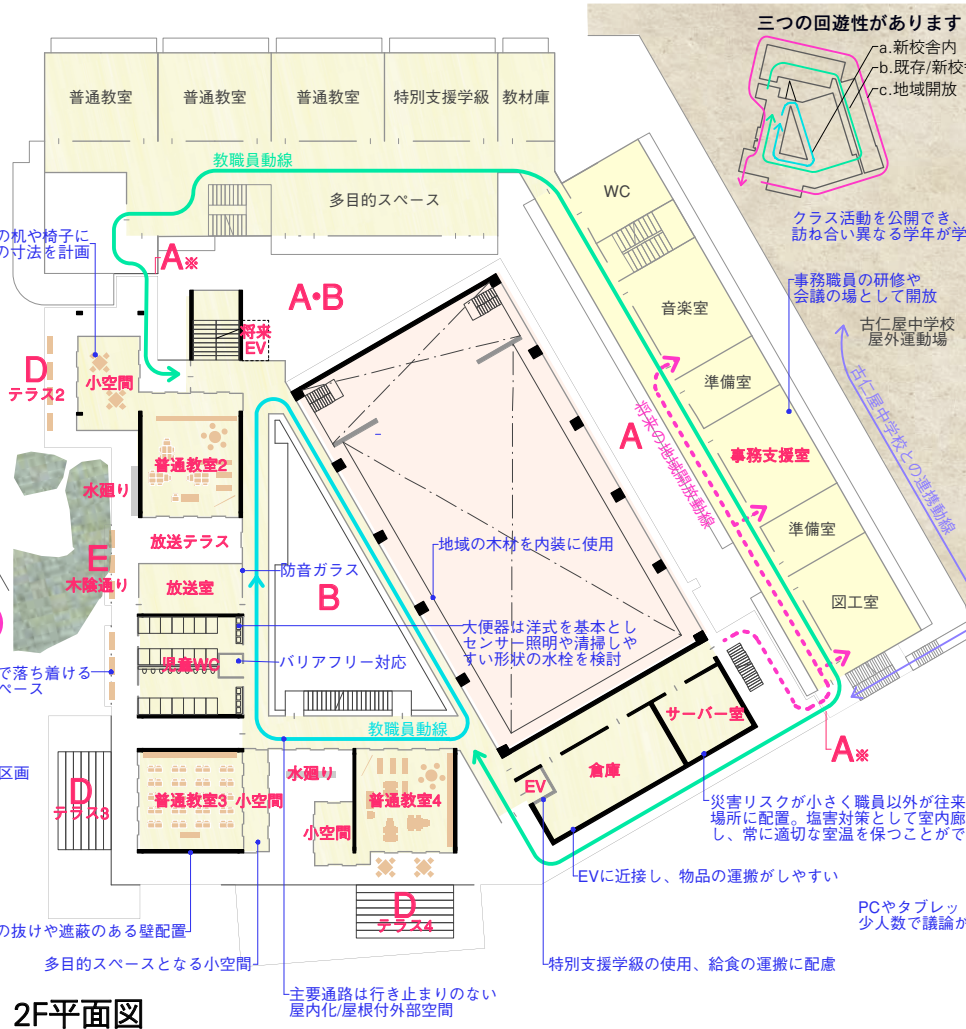
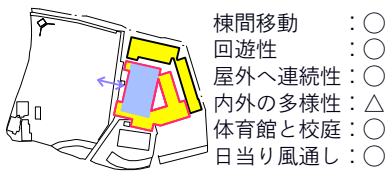
### ＊災害時利用

- 1.家庭科室が避難所機能を補足
- 2.幼稚園駐車場と屋外運動場は避難所利用を想定
- 3.屋外運動場のトイレを利用
- 4.中庭がバッファになる

### ＊配置検討案



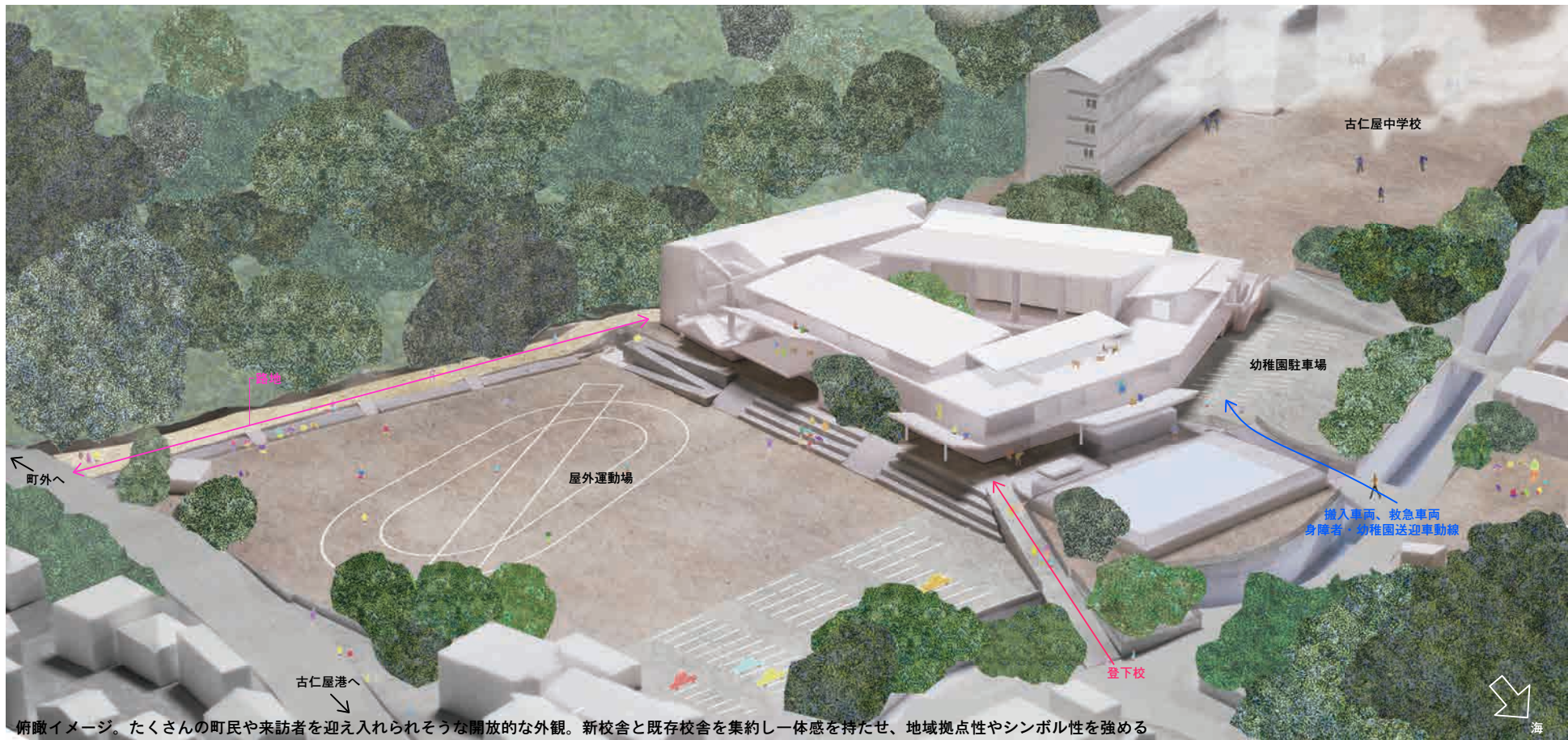
### ＜検討案＞←変更調整可



|          |      |         |       |
|----------|------|---------|-------|
| 1F屋内面積   | 804㎡ | 延床面積    | 1873㎡ |
| 1Fテラス面積  | 646㎡ | テラス面積   | 2148㎡ |
| 2F屋内面積   | 730㎡ | +       |       |
| 2Fテラス面積  | 711㎡ | 屋内運動場面積 | 854㎡  |
| 屋上F屋内面積  | 339㎡ |         |       |
| 屋上Fテラス面積 | 791㎡ |         |       |

面積表 1/2





俯瞰イメージ。たくさんの町民や来訪者を迎え入れられそうな開放的な外観。新校舎と既存校舎を集約し一体感を持たせ、地域拠点性やシンボル性を強める

#### ③地域に愛され、安全で持続可能な学校運営を実現するための提案

### 4. 子どもを町ぐるみで見守る地域の拠点

■地域社会が積極的に入り込み、小学校を活用できるよう動線計画や諸室のゾーニングを検証します。

- ・外部アクセスしやすい特別教室・屋内運動場
- ・大人も使いやすい寸法。一般公共施設のユニバーサルデザイン指針を適用し、福祉活用も視野に含む
- ・地域開放時の施設区画を明確化。防災施設活用時も学校運営と共存できる動線計画の考案

### 5. 歴史を感じ、信頼できる学校

■永く愛され、町の歴史を象徴する持続可能性の高い建築物を目指します。思い出の場所となる学校は、就労時や子育て時に戻りたくなる町のイメージに寄与し、人口維持に貢献するからです。

- ・既存校舎や既存の自然との一体性の形成(→2.A)
- ・奉安殿や既存樹木の場所に中庭を計画し保存する
- ・児童数変化に備え、一部諸室は転用可能に設える
- 長寿命化を図り、地震災害に強い構造体とします。
- ・現地施工の比率が高いRC造を採用。耐震壁を交互に配し安定性を高め、柱を減らし利便性も向上
- ・大スパンのみ鉄骨を用い、運搬費や人件費を抑制
- ・躯体の高耐久化を検討(充分なコンクリートかぶり厚、火山灰混入左官材による被覆等)

### 6. 自然エネルギーの活用 (ZEB化)

■培われた近代以前の知恵を校舎から学ぶ

- ・機械設備に依存せずに快適な環境を形成するため、充分な広さの中庭を設け採光・通風を確保する。(→災害時の復旧/支援前のインフラ断絶時を支える)

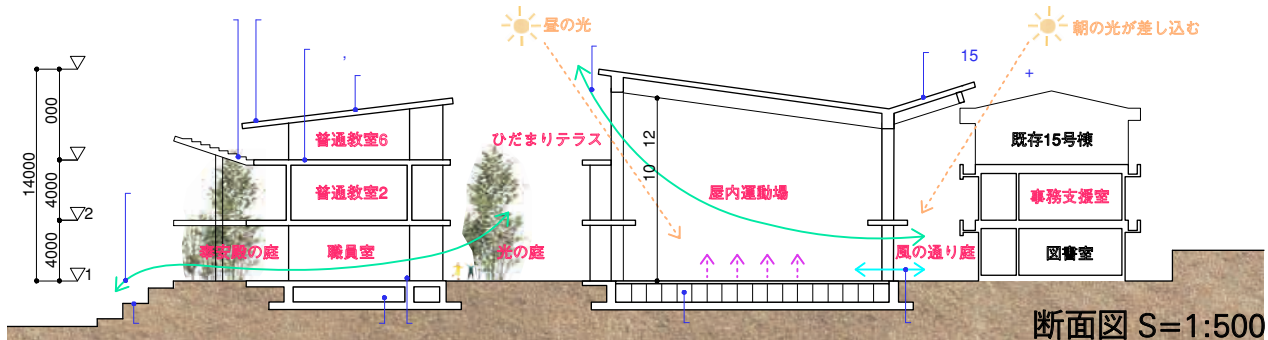
- ・テラス(直下階では深い庇)が直射光を遮り、間接光を採り入れ、空調負荷と照明負荷を抑制。同時に、自然を感じられる開放的な室内とするため、建具は出入りや開閉が容易な引戸とする。壁面の透明化率を高めるが、複層ガラスを採用し、断熱性と静寂性も保つ。屋根/外壁も高断熱化し、細かな制御が可能な空調換気の系統設計やセンサー付機器の採用、LED照明等の高効率設備機器を選定
- ・屋内運動場は居住域空調とし、高窓で熱を抜く
- ・光+風(+反響音)のシミュレーションを実施する
- ・テラスは外壁や設備の維持管理も容易にする
- ・内装/什器は木材を用い室内でも自然を感じさせる
- 塩害や衛生対策を施し耐久性・耐汚性を高めます。
- ・配膳室の衛生確保：専用出入口、前室の設置
- ・コンピューター室の保護：サーバー室は室内に面す
- ・塩害対応の設備機器類・外気取入換気口の選定

#### ④工事期間中における児童の負担を軽減するための提案

### 7. 工事中の安全と、スムーズな供用開始

■施工性の高い施工環境・搬入経路の確保と、児童や教職員の安全を両立させた仮設計画を行います。工事期間からも活用できる新校舎計画の要素は、仮設校舎と共に計画し先行工事できるよう図ります。

- ・屋外運動場の高低差に歩道とスロープを敷設し、工事範囲を避け、14号棟西端昇降口へアクセス
- ・仮設校舎は屋外運動場北端に配し既存校舎と集約
- ・竣工後の迅速な供用開始のための段取を考慮し、継続活用する既存校舎部分の改修計画を立てる



#### ⑤その他、独自の提案

### 8. 学校であることを超えた、新しい公共施設

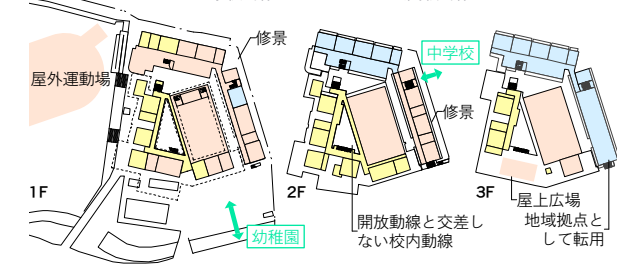
■以上の提案は、古仁屋小学校が瀬戸内町での将来の地域拠点を担う可能性を暗示しています。空き教室転用等の積極的な将来計画も検討し、新しい時代の学校が新しい時代の町づくりを牽引し、移住者も迎えられる環境を整え、気運を高めたいと考えます

- ・幼保小／小中連携がしやすい隣地際の外構改修等
- ・既存校舎の改修を継続し、地域開放に役立てる

空き教室の改修・転用例(国内に他事例あり)：あ.移住体験可能な滞在型の宿泊室/い.地域の伝統・文化に関する展示資料室等/う.各種ワークショップスペース、教室/え.学童保育室、高齢者サロン等の福祉拠点

＊将来計画例

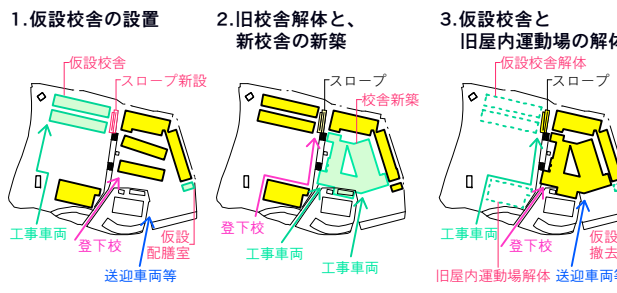
- 学校専用エリア
- 地域開放エリア
- 転用エリア
- 学校動線
- 地域開放動線



### 9. 美しい風景に溶け込む、美しさのある校舎

■奄美大島の風土に叶う学校を目指します。建築物の造形美に留まらず、使用者が快適に過ごす風景が映えることが重要で、それには機能・性能面の充足が必須です。設計期間中は諸関係の方々との具体的な方法について深く協議、各種検討を経て体现させます。

#### ＊工事計画 (7.)



風を感じながらの野外授業、日陰の外ランチ、演劇や催し等が可能